

おもな内容	main contents
中学生の「税についての作文」	3
特集 万田坑、再発見	4
共生社会への扉のカギは「スポーツ」にあり	8
市職員の給与・定数管理などを公表します	10
Town Topics まちの話題	12
荒尾市 10大ニュース	16
子育てのひろば	18
保健・健康	20
くらしの情報	23
パブリックコメントを募集します	28
試験・募集・イベント	29
医療カレンダー	34
イベントカレンダー	35
ひとのちから CLOSE UP	36

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]  
福祉課 ☎ 63-1406

荒尾市ホームページ  
<http://www.city.arao.lg.jp>



携帯電話専用サイト  
<http://www.city.arao.lg.jp/defaultM.aspx>  
※通信費は閲覧者の負担です

荒尾市 Arao City  
面積 57.15平方キロメートル  
市制施行 1942(昭和17)年4月1日

荒尾市強調月間  
12月は「人権を考える月」です



### 幻想の夜 万田坑 D-K LIVE 2011



▲D-K LIVE 上映中の万田坑。行燈の明かりと共に沈殿池に写り込み、いっそう幻想的に。

10月21日(金)、22日(土)、D-K LIVEが行われました。アーティスト・長谷川章さんが発明した時間と光のデジタルアートが、万田坑の違った一面を浮かび上がらせました。昨年4月の万田坑復坑祭から約1年半ぶりの再上映となりました。

### 100歳 おめでとうございます



椋島キヨメさん (四ツ山町2丁目)

11月に、椋島キヨメさんが、100歳のお誕生日を迎えられました。11月7日(月)、前畑荒尾市長から椋島さんに、記念品が贈呈されました。たくさんの祝福を受けて、市長訪問のひと時を過ごされました。

### 題字を書きました

習字は1年生から習っています。学校の勉強は国語が好きで、漢字を書くのが特に好きです。休み時間には、友達とドッジボールをしたりして遊んでいます。11月9日の連合音楽会では、「八木節」を合奏しました。私は鍵盤ハーモニカで演奏し、間違えずに弾くことができました。皆でとてもいい演奏ができたと思います。



平井小学校4年 久保田留以さん

## 中学生の「税についての作文」

身近な「税」を考えてみよう

平成23年税を考える週間

毎年、11月11日から17日までは「税を考える週間」です。

荒尾・玉名地区では「税を考える週間実行委員会」を設置し、平成3年から中学生の税の作文を募集しています。

平成23年度は、荒尾・玉名地域の中学生から2千733編の応募があり、本市から次の5人の作品が優秀作品に選ばれました。(敬称略)

- 熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞 荒尾海陽中学校3年 宮本竜之介
- 玉名税務署長賞 荒尾海陽中学校3年 柏木諒汰
- 熊本県玉名地域振興局長賞 荒尾海陽中学校3年 田端真子
- 荒尾市長賞 荒尾第四中学校2年 加藤興治
- 荒尾市教育長賞 荒尾第三中学校3年 岡田七海

このうち熊本県納税貯蓄組合連合会長賞に選ばれた、荒尾海陽中学校3年 宮本竜之介さんの作品をご紹介します。

熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞 「税金の大切さ」  
荒尾海陽中学校3年 宮本竜之介



ぼくは、今まであまり「税金」について考えたことはありませんでした。しかし、今年の夏、税金についての作文を書くことになり、そのことについて家族で話をしたり、考えてみる機会を持つことができました。

税金は、国や地方公共団体が国民から徴収するお金のことで、そのお金は税金は、社会保障や公共事業、教育、災害救助や災害復興など、ぼく達が安全で健康的、文化的な生活を送るために使われていることが分かりました。しかし、日頃よく見たり聞いたりするニュースからは実際にそのような使い方がされているのかとても不安になるような情報が多く伝えら

れているようにも感じます。国の借金は増える一方で、増税が必要だとか、税金の無駄使いという言葉もよく耳にします。昨年の政権交代により、事業仕訳が行われ税金の無駄使いがされていないか見直しがされる一方で、子ども手当や高校授業料の無償化、高速道路料金の値下げ一部無料化など新しい政策も始まりましたが実際はそれらも見直しがされる状況になっています。ぼくはこのような税金の使い方は良くないと思います。

長続きしない一時的なサービスは、かえって国民の生活を混乱させ、国民の生活が安定しなければ国の安定はないと思うからです。国民には、日本国憲法に定めら

れている、納税の義務があります。なぜ国民は税金を納める義務があるのか考えてみました。それは税金がぼく達の生活を支えてくれているものだからです。ぼく達が使う学校の机や教科書、毎日の生活がスムーズにできるような公共のサービス、医療や福祉など、目に見えないものには見えないものも含め、ぼく達の生活にはなくてはならないものを税金が支えています。だからこそ国民は納税の義務を果たし、国は国民から預かった大切なお金―税金を正しく使わなければならないと思います。税金の無駄使いと言われるような一時的な使い方ではなく、現在の状況を正しく把握して、長く将来のことを見据えた税金の使い方を考えるべきだと思います。

今、日本は大変な状況に置かれています。東北震災による社会への様々な影響が心配される中、また財政破綻の心配もあります。そんな状況の中で国民の安全で安心な生活を長期的に守るために大切な税金を正しく使って欲しいと思います。そして納税するべく国民一人一人も、政治や経済に関心を持ち、一方的な情報に惑わされることなく、税金の大切さ、使い方も正しく知ることが大切だと思います。